

●平成26年度施政方針

幸せを実感できる まちを目指して

小沢昌記市長は26年第2回奥州市議会定例会で、本年度の市政運営の基本となる施政方針を述べました。その概要を紹介いたします。

（奥本市政策企画課（内線415））

1 新しいまちづくりの推進

私は先の選挙において、改革の継続と未来の創造を訴え、市民の皆様のご支持をいただき、引き続き市長の重責を担うこととなりました。

二期目の市政運営は、改めて「変えよう奥州 変わろう奥州」に挑戦するとともに、これまで以上に市民と向き合い、市民が主役となるまちづくりを目指すことで「地域の個性がひかり輝く自治と協働のまち」の実現に取り組む所存です。

市町村合併により手に入れた多様性を大切な資源として「幸せを実感できるまち」の礎を固め、子どもや若い世代が、このまちでのびのび育ち、さらに夢や希望を描くことができるよう、次の世代へ財産を引き継ぐことが私に与えられた使命と確信し、全身全霊を傾注して邁進してい

きます。

2 協働の力を確かなものに

27年度までを「協働」と「自立」のトレーニング期間と位置付けて、地域コミュニティとの協働のまちづくりを進めてきましたが、次は全ての分野の「協働」に取り組みます。

「協働」は、当事者として負担とサービスを考え、資源の再配分を行い、効率を上げ、成果を大きくすることを目指します。たくさんの方の参加が大きな力を創造することにより、人間力と地域力、ふるさとの総合力を遺憾なく発揮していただくよう願っています。

3 財政運営の健全化

26年度一般会計予算は、新市建設計画実現のための事業を確実に盛り

込むとともに、財政調整基金を取り崩すことなく新たな行政需要にも対応するよう編成を進めました。消費増税に軽減税率の臨時福祉給付金や農地の多面的機能支払対策事業などの影響で、計画額を上回っている状況です。

歳入は、財源の多くを地方交付税に頼らざるを得ず、国の動向も不透明な情勢にあり、一般財源の確保は一層厳しい状況です。

一方、歳出では、人件費に比べ義務的経費の抑制がなかなか進まず、新たな経費の捻出に苦慮している状況です。

財政健全化の指標となる実質公債費比率、将来負担比率は依然として高い水準にあり、財政健全化に真面目に取り組んでいきます。

4 行政組織の再構築

これからの行財政改革は「あった方がよい」を削り「なければならぬ」に絞り込む、新たな段階に入っていきます。「組織・人・仕事」を一体で、聖域を設けず見直し、単なる事業の削減ではなく、コスト削減やサービスの質の向上手法や新たな施策形成などによって、持続可能な行政運営、地域経営の確立を目指していきます。

施政方針・部門別の主な重点項目

みんなで創る自立したまちづくり

- 市民憲章普及による都市像の構築
- 協働による創造的な取り組みの推進
- ILC実現に向けた多言語情報提供

未来を拓く人を育てる学びのまちづくり

- 学校施設改築、耐震補強事業推進
- 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会成功のための準備

健康で安心して暮らせるまちづくり

- 要支援者などを見守る社会の構築
- 高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画策定
- 地域医療推進室の設置

賑わいと豊かさのあるまちづくり

- 農業経営基盤整備による担い手確保
- 農畜産物の生産体制、販路拡大
- 地域6次産業化ビジョン策定
- インバウンド観光の誘客促進

豊かな自然と共生する安全なまちづくり

- 再生可能エネルギーの活用
- 道路側溝などの汚染土壌除去
- 放射線量測定継続と風評被害対策

安全で心地よい生活空間のまちづくり

- 通学路や生活道路などの整備
- スマートインターチェンジの設置
- 水道老朽管の計画的更新と整備

●平成26年度教育行政方針

未来を拓く人づくり

高橋清融教育委員長は26年第2回奥州市議会定例会で、教育行政方針を述べました。その概要を紹介いたします。

（奥州市教育委員会事務局教育総務課（江刺総合支所・内線411））

1 たくましく生きる力を はぐくむ学校教育の充実

就学前教育は生涯にわたる人格形成の基盤を担うことから、健康な体、人との関わり、環境への好奇心や探究心、言葉や表現などを育む教育を推進します。そのため、幼稚園における「まなびフェスト」による取り組みや学校評価の充実を図るとともに、幼稚園・保育所と小学校の円滑な接続を進めます。

学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒一人一人に確かな学力を保障する教育の充実に努めます。そのために、児童生徒自身の学ぶ力を引き出す授業づくりを目指した「学びの共同体」の考え方による授業改革を進めるとともに、児童生徒の学びの保障と教師の指導力の向上に取り組めます。「心の教育の充実」については、正義感や公正さを重んじる心、他者との共生および寛容な態度を養

うため、児童生徒の望ましい人間関係づくりや学校不適応の未然防止と早期発見および対応に努めます。

29年4月開校予定の胆沢区統合中学校については、建設に向けた実施設計を進めるとともに、各学校や地域との連携体制のもと、着実に統合準備を進めます。

また、校舎の改築や教育施設の耐震化については、引き続き改修事業を推進するとともに、耐震補強に向けた実施設計を行います。

2 生きがいあふれる 涯学習・文化活動の充実

市民一人一人が継続的に自己を研鑽し、学びの成果を生かして豊かに生きがいのある人生を構築することができるよう、関係機関と連携し、市民へ学習機会の情報提供や助言指導を行うなど学習活動の支援を行います。

また、教育振興運動や青少年リ

3 次代をつむぐ 歴史遺産の保存と活用

胆沢城跡の歴史公園整備については、専門家委員会の意見を聞きながら、引き続き復元整備を推進するとともに、他の国指定史跡についても適切な周辺環境の保全に努めます。

また、世界遺産「平泉の文化遺産」への拡張登録を目指す白鳥館遺跡と、長者ヶ原廃寺跡の調査研究を推進します。

4 潤い豊かな スポーツライフの推進

誰もが参加でき気軽に楽しめるスポーツイベントとして、チャレンジデーやスポレク奥州、奥州三大マラソンなどを実施するほか、スポーツ推進委員と連携し、地域におけるスポーツ活動を支援するなど、市民が週1回以上、運動やスポーツに取り組む「全市民週一運動」を推進します。

28年度に開催される「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」については、会場となる施設の修繕や維持管理に努めるとともに、全国規模以上の大会の開催を支援します。

